

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Trace Route ユーティリティ](#)

[関連情報](#)

概要

トレース ルート (tracert) ユーティリティを使用すると、伝送中のネットワーク パケットを表示して、そのパケットが宛先に到達するのに必要なホップ数を決定することができます。このドキュメントでは、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 環境でトレース ルート ユーティリティを実行する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ICM
- Microsoft Windows ネットワーキング

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は ICM のすべてのバージョンに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Trace Route ユーティリティ

ICM ノード間の時機を得たおよび信頼できる接続を確認するために Trace Route ユーティリティを使用できます。ping コマンドが要求タイムアウトを示す場合またユーティリティを使用できます。ping コマンドに関する詳細については、[Ping ユーティリティ 使用方法](#)を参照して下さい。

Trace Route ユーティリティはパケットがリモートコンピュータまたはコンピュータからの宛先に奪取するルートを判別します。ユーティリティはホップ、また、ネットワーク経路で、ルートが壊れていたりまたは不正確であるデバイス IP アドレスの数を表示します。

Trace Route ユーティリティがうまく働くとき、メッセージ 見ます。トレース ルートが完了しない場合、ローカル および リモート ノード間にネットワーク障害があります。ほとんどの場合、問題はネットワークパスにある IP ルータまたはハブなどのネットワーク デバイスです。このイベントでは、LAN 管理者に連絡し、トレース ルートの各ホップを提供して下さい。

このセクションの出力例は接続の成功を表示します。Microsoft OS 環境の Trace Route ユーティリティを開始するために `tracert` コマンドを発行して下さい。

```
C:\>tracert 172.30.8.28Tracing route to 172.30.8.28 over a maximum of 30 hops:  1  <10 ms  <10
ms  <10 ms 161.44.240.2  2  <10 ms  <10 ms  <10 ms 172.24.72.2  3  20 ms  10 ms  <10 ms
171.71.0.25  4  10 ms  <10 ms  10 ms 171.69.209.4  5  71 ms  80 ms  70 ms
171.68.27.253  6  80 ms  70 ms  81 ms 198.92.1.140  7  80 ms  90 ms  70 ms
171.68.0.193  8  80 ms  90 ms  70 ms 172.30.7.39  9  141 ms  150 ms  130 ms
172.30.15.30 10  141 ms  140 ms  160 ms 172.30.8.28Trace complete
```

`tracert` コマンドのための有効なパラメータを見つけるために、Microsoft Windows のヘルプ ファイルをチェックして下さい。

[関連情報](#)

- [Ping ユーティリティ 使用方法](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)